

特別会計・企業会計予算

特別会計

国民健康保険特別会計

76 億 174 万円 (前年比 12.7% 減)

国民健康保険を県と市町村が共同運営する、国保の財政運営の健全化と安定化に向けた改革が始まります。特定健診受診率や保険料収納率などの評価指標を用いた「保険者努力支援制度」が導入され、県の特別交付金が事業実績に応じて増減することから、今まで以上に特定健診受診率向上などに取り組んでいかなければなりません。多くの人に特定健診を受診してもらえよう、自己負担金の見直しを行っています。

介護保険特別会計

56 億 9,680 万円 (前年比 6.8% 減)

高齢社会の進展に伴う要介護認定者数の増加により、介護保険給付費も伸びていくものと見込んでいますが、平成 28 年度に、本市の介護療養型医療施設が 2 カ所廃止となった影響などから、予算総額は減少しています。

後期高齢者医療特別会計

7 億 7,409 万円 (前年比 2.4% 増)

超高齢社会による被保険者の増加や、目覚ましい医療技術の進歩などにより保険給付費が増加する中、将来にわたり安心して医療給付が受けられる制度を堅持するため、医療費適正化に努めます。

そこで、今年度も特定健診やがん検診と提携して行っている医科健診事業、さらに、歯科健診事業を実施することで、病気の早期発見による重症化の予防に努めます。

南新地土地区画整理事業特別会計

11 億 1,068 万円 (前年比 107.0% 増)

平成 29 年度末に第 1 回仮換地指定を行いました。平成 30 年度は水路、調整池、整地などの工事や移転補償を行い、計画的な宅地整備と都市機能誘導によるにぎわいの創出、市街地としての拠点性の強化を図っていきます。

企業会計

水道事業

収益的収支予算
 総収益 10 億 9,048 万円
 総費用 10 億 4,887 万円
 利益 4,161 万円

水道一元化に伴う給水管切替工事の最終年度です。今年度は 120 件の給水管切替を予定し、これをもって切替完了となります。また、今後の取り組みの方向性を示す「荒尾市水道ビジョン」を策定し、安全で安定した供給サービスを永続的に提供できるよう努めます。また、南新地土地区画整理事業区画内工事、高浜および金山地区の配水管布設工事を始め、施設設備の計画的な更新工事を行います。

下水道事業

収益的収支予算
 総収益 14 億 1,274 万円
 総費用 12 億 8,233 万円
 利益 1 億 3,041 万円

施設の計画的かつ効率的な改築と維持管理を行っていくため、平成 29 年度から平成 31 年度にかけて「下水道ストックマネジメント計画」を策定し、下水道施設の持続的な機能の確保に努めます。

今年度は、南新地土地区画整理事業区画内管渠工事や牛水および倉掛地区を中心に管渠布設工事の面整備を図るとともに、西原雨水ポンプ場の電気設備更新工事を実施する予定です。

病院事業

収益的収支予算
 総収益 65 億 6,049 万円
 総費用 64 億 9,609 万円
 利益 6,439 万円

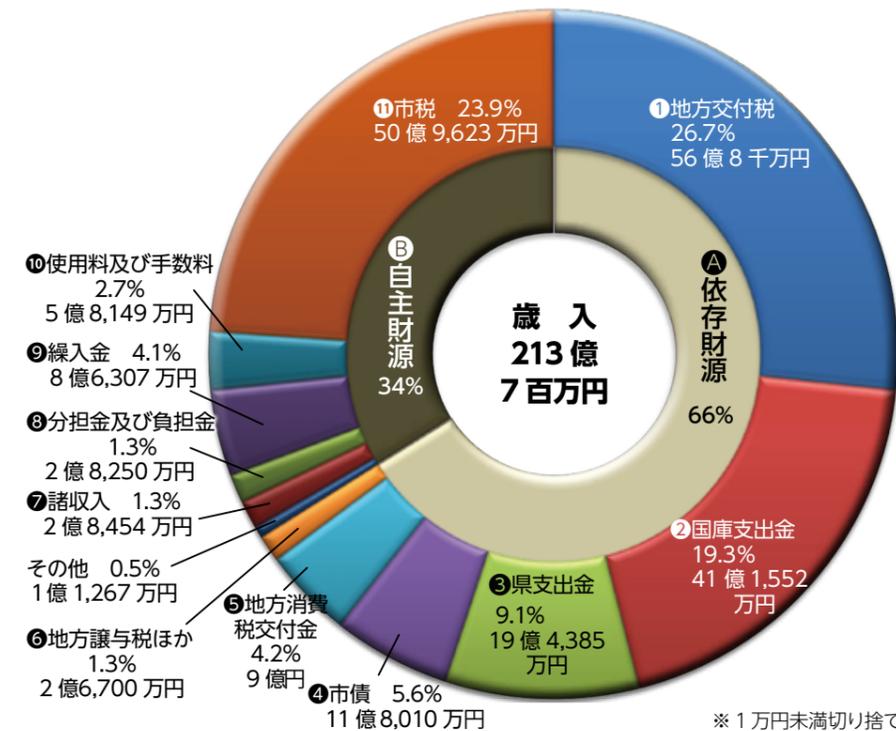
「第二期中期経営計画」を基に、さらなる経営の安定化を図ります。新病院建設は設計段階に入り、最適な発注手法などの検討を行いながら引き続き推進します。今年度は、6 年に 1 度の診療報酬と介護報酬の同時改定の年です。団塊の世代が全て 75 歳以上の後期高齢者となる 2025 年に向けた道筋を示す実質的に最後の同時改定となるため、医療・介護両制度にとって重要な節目の年です。今回の改定では、医療機能の分化・強化、医療と介護の切れ目のない連携を着実に進めることが重要となります。当院としては、急性期病床の機能のさらなる強化を図り、紹介などによる患者数の増加に努めます。

※ 1 万円未満切り捨て

一般会計歳入予算

- ① 地方交付税…地方自治体間の財政力の不均衡を是正するため、国税の一部を一定の基準で国が配分するもの
- ② 国庫(県) 支出金…特定の事業を行うために、国や県から交付されるお金
- ④ 市債…大きな事業を行うときに国や銀行から借り入れるお金
- ⑤ 地方消費税交付金…地方消費税を財源として交付されるお金
- ⑥ 地方譲与税ほか…地方揮発油税・自動車重量税などの国税を一定の基準で国が配分するもの
- ⑦ 諸収入…貸付金元利収入や受託事業収入など
- ⑧ 分担金及び負担金…保育事業など特定の事業に充てるため、その事業で利益を受ける人から徴収するお金
- ⑨ 繰入金…基金(市の貯金)などから繰り入れるお金
- ⑩ 使用料及び手数料…施設の使用料や住民票など証明書の交付にかかる手数料など
- ⑪ 市税…市民税・固定資産税・軽自動車税・市たばこ税・入湯税、市の財政上最も重要な財源

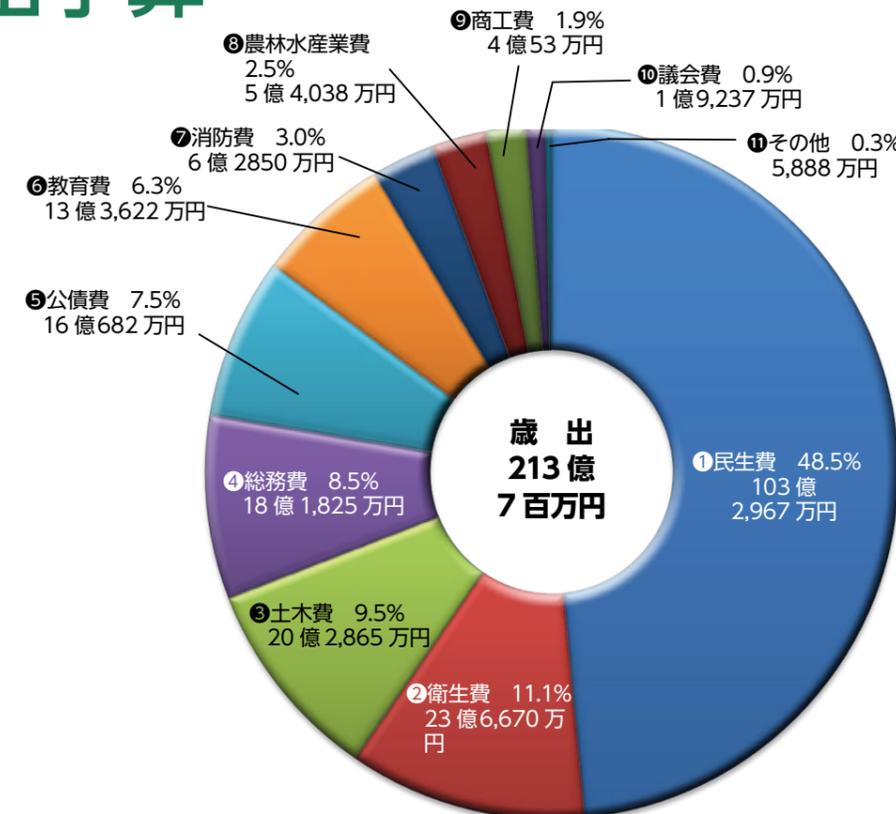
- Ⓐ 依存財源…国や県によって額が決められ、交付されたり割り当てられるお金
- Ⓑ 自主財源…市が自主的に収入にすることができるお金



※ 1 万円未満切り捨て

一般会計歳出予算

- ① 民生費…市民の社会生活を保障するための経費。保健・福祉分野に使用
- ② 衛生費…市民の健康で衛生的な生活環境を保持するための費用。環境・保健分野に使用
- ③ 土木費…道路・公園・港湾・市営住宅などの維持や建設に使用
- ④ 総務費…市の全般的な管理事務経費
- ⑤ 公債費…市の借金を返済する経費
- ⑥ 教育費…幼稚園、小・中学校教育、社会教育やスポーツ振興の教育分野に使用
- ⑦ 消防費…消防・水防・災害対策や救急活動などに使用
- ⑧ 農林水産業費…農林水産業の振興などに使用
- ⑨ 商工費…商工業の振興や観光事業に使用
- ⑩ 議会費…市議会運営に使用
- ⑪ その他…労働環境の維持改善や災害復旧に使用



※ 1 万円未満切り捨て